



Asian American and Pacific Islander Heritage Month : 授業アイデア（簡単版）

アジア太平洋系文化継承月間をテーマにした英語の授業
アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 5月のなぞを解け：2つの日付で理由を説明しよう

中学・25分

🌀 1843年と1869年の2つの出来事を英語で読み取り、なぜ5月がAAPI月間なのかを英語で説明する。

1. 黒板に May 7, 1843 と May 10, 1869 を書き、何があった日かを予想させる。
2. 本文の第1・第2段落を音声で聞き、それぞれの日に何があったかをメモする。
3. ペアで May is AAPI Heritage Month because ... の文を2つ作る。
4. 数人に発表させ、万次郎が日本の高知県の出身であることを地図で確かめる。

2. 日系アメリカ人の120年：年表と「おわび」を読む

高校・30分

🌀 1868年から1988年までの日系人の歴史を英文カードで年代順にならべ、国が謝罪した意味を自分の言葉で説明する。

1. 1868年の元年者、1885年の移民の本格化、1942年の大統領令、1988年の市民の自由法を英文カードにして配る。
2. グループでカードを年代順にならべ、First, ... Then, ... Finally, ... で説明する。
3. 1988年の法律が収容の原因として認めた3つ（人種への偏見・戦時のヒステリー・政治指導の失敗）を英語で読む。
4. 「国が過去のあやまちを謝ること」について、自分の意見を英語で2文書いて発表する。



1.5月のなぞを解け：2つの日付で理由を説明しよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

本文の第1・第2段落から、1843年5月の万次郎の到着と1869年5月10日の大陸横断鉄道の完成を読み取り、May is AAPI Heritage Month because ～. の形で、5月が選ばれた理由を2つ英語で言える。

準備

- 基本セット p.1（読解：Two Stories from May）と英語ページの音声
- 日付カード2枚（May 7, 1843 / May 10, 1869）を黒板に貼れる大きさで
- 日本地図と世界地図（高知県とマサチューセッツ州、ユタ州に印をつける）
- メモ用ワークシート（日付・だれが・何をした の3欄を2行）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	日付カード2枚を黒板に貼り、何があった日かを予想させる。どちらも5月であることに気づかせ、アメリカでは毎年5月がアジア系と太平洋諸島系の人々の歴史を知る月であることを伝える。	2つの日付を見て、何があった日かを自由に予想して言う。	“Look at these two dates.” “What happened on these days? Guess.” “Both are in May.” “In the United States, May is AAPI Heritage Month.”
展開1	7	英語ページの音声で第1・第2段落を2回聞かせ、メモ用ワークシートに日付ごとに「だれが・何をした」を書かせる。答え合わせでは、14歳の漁師万次郎が捕鯨船に助けられて1843年5月にマサチューセッツに着いたこと、何千人もの中国系労働者が鉄道の西側を造ったことを確認する。	音声を聞き、2つの日付に何があったかをメモする。	“Listen to paragraphs 1 and 2.” “Who came to Massachusetts in 1843?” “Who built the western part of the railroad?” “Let's check your notes.”
展開2	8	May is AAPI Heritage Month because ～. の型を板書し、ペアで理由を2つ英文にさせる。because のあとに主語と動詞のある文を置くことを確認し、本文の文を短くして使ってよいと伝える。	ペアで、5月が選ばれた理由を英文で2つ書く。	“Make two sentences with your partner.” “May is AAPI Heritage Month because Manjiro came to America in May 1843.” “After because, write who did what.” “You can use words from the story.”
まとめ	6	数組に発表させ、地図で高知県（土佐）とマサチューセッツ州、鉄道が完成したユタ州を指し示す。万次郎が日本の高知県の出身であることを確認し、日本の歴史とアメリカの月間がつながっていることを伝えて終える。	作った英文を発表し、地図で場所を確かめる。	“Please read your sentences.” “Manjiro was from Kochi, here in Japan.” “He arrived here, in Massachusetts.” “The railroad was finished here, in Utah.”

板書例

🌸 AAPI Heritage Month (every May)

AAPI = Asian American and Pacific Islander

May 7, 1843 Manjiro (土佐の漁師) arrived in Massachusetts.

May 10, 1869 The first railroad across the country was finished.
(Chinese workers)

May is AAPI Heritage Month because ____.
because のあと = 主語 + 動詞

評価のポイント

- 2つの日付と出来事を、音声から正しく聞き取ってメモできたか。
- because のあとに主語と動詞のある文を続けて、理由を2つ書けたか。
- 作った英文をはっきり発表できたか。

つまづきへの手だて

- 聞き取りが難しい生徒には、第1・第2段落のスク립ト（基本セット p.1）を見ながら聞かせる。
- 英文が作れない生徒には、because Manjiro ____ in May 1843. / because Chinese workers ____ の穴あき文を渡す。
- 発表が苦手な生徒は、ペアで1文ずつ分けて読ませる。

発展

- 基本セット p.2（4択・True or False）で本文の内容を確かめる。
- 基本セット p.6 の迷路（Help Kai get to the Spam musubi!）で、ひみつの語 ROOTS を見つける。
- Discussion の問い Do you know any people from Japan who moved to another country? にペアで答える。

使う教材

- 基本セット p.1（読解：Two Stories from May）と英語ページの音声
- 基本セット p.2（4択・True or False）
- 基本セット p.6（迷路）



2. 日系アメリカ人の120年： 年表と「おわび」を読む

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

1868年・1885年・1942年・1988年の4つの出来事を英文カードから読み取って年代順にならべ、First, ... Then, ... Finally, ... で説明できる。1988年の市民の自由法が認めた収容の3つの原因を理解し、国が過去のあやまちを謝ることについて自分の意見を英語で2文書ける。

準備

- 英文カード4枚（年号を消したもの）をグループに1組：About 150 Japanese people sailed to Hawaii to work on sugar farms. (1868) / Many more Japanese workers began to go to Hawaii under a government plan. (1885) / About 120,000 Japanese Americans were sent to ten camps. (1942) / The government said sorry and paid 20,000 dollars to each survivor. (1988)
- 基本セット p.1（読解：Two Stories from May）の第4段落と英語ページの音声
- 記事の「日本とのつながり」の節の要点プリント（元年者・大統領令9066号・ミネタのバット・市民の自由法）
- 英文ワークシート：race prejudice / war hysteria / a failure of political leadership の3語句と和訳欄

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	第4段落の During World War Two, about 120,000 Japanese Americans were sent to camps. を板書し、音声で第4段落を聞かせる。約12万人のうち3分の2近くがアメリカ国籍の市民だったことを伝え、なぜそんなことが起きたのかという問いを示す。	第4段落を聞き、12万人という数と、その多くが市民だったことをつかむ。	"Listen to paragraph 4." "About 120,000 Japanese Americans were sent to camps." "Almost two-thirds of them were American citizens." "Why did this happen?"
展開1	8	年号を消した英文カード4枚をグループに配り、要点プリントを手がかりに年代順にならべさせる。答え合わせで年号を示し、1868年の人々が「元年者」と呼ばれる理由（出発時は慶応4年、その年に明治と改元）と、6月20日が国際日系デーであることも紹介する。	グループで英文カードを読み、年代順にならべて年号を確認する。	"Put the four cards in order." "Use the handout to help you." "Which card is the oldest?" "Let's check the years together."
展開2	6	ならべたカードを使い、First, ... Then, ... Next, ... Finally, ... でグループ内で順に説明させる。1人1枚ずつ担当させ、1グループに全体の前で通して言わせる。	つなぎの語を使って、4つの出来事を順に英語で説明する。	"Explain the cards in order." "Use First, Then, Next, and Finally." "First, in 1868, about 150 Japanese people sailed to Hawaii." "Can one group tell the whole story?"
展開3	7	1988年の法律が、収容の原因を race prejudice, war hysteria, and a failure of political leadership と認めたことを示し、3つの語句の意味をワークシートで確認させる。収容所でバットを取り上げられたノーマン・ミネタが、のちに議員としてこの法律を進めたことを要点プリントで読ませる。	3つの語句の意味を確認、ミネタの話を読む。	"The law named three causes." "Race prejudice, war hysteria, and a failure of political leadership." "What does each one mean? Check with your group." "Norman Mineta was in a camp as a boy. Later, he helped pass this law."
まとめ	5	「国が過去のあやまちを謝ること」について、I think ~ because ~. の形で意見を2文書かせ、数人に発表させる。謝罪や補償には賛成・反対いろいろな考えがありうることを認め、理由をつけて述べることを大切にする。	国の謝罪について自分の意見を英語で2文書き、発表する。	"Should a country say sorry for its past mistakes?" "Write two sentences. Use I think ... because ..." "Please share your opinion." "Thank you. Every opinion needs a reason."

板書例

Japanese Americans: 1868 → 1988

1868 about 150 people sailed to Hawaii. (元年者)
1885 many more workers went to Hawaii.
1942 Executive Order 9066 → about 120,000 people sent to 10 camps
1988 Civil Liberties Act : sorry + \$20,000 each (82,219 people)

First, ... Then, ... Next, ... Finally, ...

Three causes:

- race prejudice (人種への偏見)
- war hysteria (戦時のヒステリー)
- a failure of political leadership (政治指導の失敗)

I think ____ because ____.

評価のポイント

- 英文カードの内容を読み取り、4つの出来事を正しい順にならべられたか。
- First / Then / Next / Finally を使って、出来事を順序立てて説明できたか。
- 国の謝罪について、理由をつけて自分の意見を英語で書けたか。

つまずきへの手だて

- 順番がわからないグループには、本文に出てくる1988年のカードを先に置かせ、残りをその前にならべさせる。
- 3つの語句が難しい生徒には、prejudice = unfair ideas about a group of people のような短い英語の言いかえを示す。
- 意見が書けない生徒には、I think it is important to say sorry because ____ / I think saying sorry is not enough because ____ の書き出しを渡す。

発展

- Discussionの問い In 1988, the United States said sorry for the camps and paid money. What do you think a country should do about mistakes in its past? について、ペアで意見を交換する。
- 記事の国別くらべ（アクティビティ集 B5）で、ブラジルの「日本人移民の日」と日本の「海外移住の日」「国際日系デー」を読む。
- 基本セット p.7（作文）の If I could ask Manjiro one question, I would ask _____. を書く。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）と英語ページの音声
- アクティビティ集 B5（国くらべ）
- 記事「日本とのつながり」の節
- 基本セット p.7（作文）